

プロセスガスクロマトグラフ GC1000 Mark II

1994年にGC1000を発売以来、1500台以上の稼働実績を得てきましたが、今回、下記の機能/オプションを追加して更に使い易くバージョンアップを行いました。

[主な特長]

高感度TCDの実現によるFID/FPDアプリケーションからの移行

現TCDモデルの10倍以上の感度を持つ新TCDシステムを開発しました。これにより多くのFID/FPDアプリケーションを新TCDに置き換えることができ、FID/FPD時に使用していた燃焼用水素と空気等のユーティリティの削減が可能になります。

EPC搭載によるユーティリティ管理の一元化

EPC(電子式圧力調整器)の採用により、ガスクロに供給されるユーティリティガスをソフトウエアで制御します。これにより、計器室からリモートでユーティリティガスの調整・管理が可能になりました。また、プログラミング機能を付加していますので、昇温機と同様な性能を引き出すことができます。

非防爆モデルの追加によりプロセスGCとして低価格を実現

JIS防爆では、インターロック機能が義務づけられています。そのため、GCには耐圧容器が必要です。しかし、ラボ等防爆が必要でない所で使用される場合、バージョンアップ機は耐圧容器を無くすことが可能です。その結果、重量のみならず価格も軽減されました。

オペレーションインターフェースの改良による操作性向上
“使い易さ”を求めて、LCD画面およびGCMT(PC専用ソフトウエア)を改良しました。例として、ショートカット機能によりパラメータの設定、変更、指令をワンタッチで行うことができます。更に、クロマトグラムはLCD上で滑らかに弧を描き、GCMT上では画面いっぱい拡大されます。



[主な仕様]

防爆タイプ：JIS Ex pd B+H₂, T₁ ~ T₄ X
FM/CSA X-purging, Y-purging Class1 Div. 1 Grps.

B, C and D T₁ ~ T₄

GENELEC EEx pd B+H₂, T₁ ~ T₄(申請中)

構造：防滴・防塵構造(NEMA3R, IP53)

動作周囲条件：-10 ~ 50, 95%RH以下

検出器：TCD, FID, FID-Methanizer, FPD

測定流路：最大31

測定成分数：最大255

測定周期：最大99999.9秒

温度範囲：55 ~ 225 (恒温槽タイプ)

5 ~ 320 (昇温レート：1 ~ 30 /min)

(昇温槽タイプ)

温度安定性：±0.03

外部入出力：アナログ入出力, 接点入出力,

RS422/RS232C出力, 専用PC通信

問い合わせ先：プロダクト環境機器センターPMK部

TEL：0422-52-5694

FAX：0422-52-0622